

科目名	日常生活の援助技術Ⅲ (姿勢と体位、睡眠・休息)	1年次	1単位 30時間	講師 専任教員
科目目標	1. さまざまな移動方法を理解し、対象の状態・状況に応じた安全・安楽な移動技術を習得する 2. 休息の種類と意義を理解し、適切な睡眠・休息を促すための援助技術を習得する			
回数	教 育 内 容			
1～12	1. 姿勢・活動 (講義) 1) 活動とは 2) よい姿勢とボディメカニクス 3) 活動・運動の能力のアセスメント 4) 体位・体位変換、安楽な体位の調整 (ポジショニング) 5) 歩行介助 6) 車椅子、輸送車への移乗動作介助・移送 7) 運動機能維持・拡大に向けた援助 (自動・他動運動の援助、ROM) 2. 演習 1) 安楽な体位の調整、体位変換 (実技2時間) 2) 車椅子移乗・移送 (実技2時間) 3) ストレッチャー移乗・移送、歩行の援助 (歩行器・杖) (実技2時間)			
13～14	3. 睡眠・休息の援助 (講義) 1) 休息の種類と意義 2) 睡眠・休息状態のアセスメント 3) 安楽な休息・睡眠を促す援助方法 4) 睡眠障害とその援助方法 5) 安静の弊害 4. 安楽確保の技術 (講義・実技) 1) リラクゼーション 2) 菴法			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえる ①基礎看護技術 メディックメディア			
参考書	ナイチンゲールの看護覚え書 西東社			
留意点				

科目名	日常生活の援助技術Ⅳ (清潔・衣生活)	1年次	1単位 30時間	講師 専任教員
科目目標	1. 療養生活における衣服の機能を理解し、対象に適した衣服を整える援助技術を習得する 2. 身体の清潔を保つ意義を理解し、対象の状態に適した清潔保持の技術を習得する			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 療養生活における衣服の機能 (講義) <ul style="list-style-type: none"> 1) 衣服を身につける意義 2) 病衣の種類と選び方 2. 対象の状態に適した寝衣交換 (講義) 3. 人間の健康と清潔 (講義) <ul style="list-style-type: none"> 1) 清潔の意義 2) 身体各部の清潔の援助方法 4. 演習 <ul style="list-style-type: none"> 1) 寝衣交換 (実技2時間) 2) 全身清拭、部分清拭 (実技4時間) 3) 洗髪 (実技2時間) 4) 足浴、陰部洗浄、口腔ケア (実技2時間) 5. 技術チェック <ul style="list-style-type: none"> 1) 全身清拭 (実技2時間) 			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえる ①基礎看護技術 メディックメディア			
参考書	ナイチンゲールの「看護覚え書」 西東社			
留意点				

科目名	診療に伴う技術Ⅱ	1年次	1単位 30時間	講師 専任教員
科目 目 目 標	1. 薬物を取り扱う際のチームにおける看護師の責任と役割を理解する 2. 薬物療法の意義・目的を理解し、薬物療法を受ける対象への看護技術を習得する			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 薬物療法時の看護師の役割（講義） <ol style="list-style-type: none"> 1) 正しい与薬 2) 薬の管理 (毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤・抗悪性腫瘍薬を含む) 2. 与薬の技術（講義） <ol style="list-style-type: none"> 1) 経口与薬・口腔内与薬 2) 吸入 3) 点眼 4) 点鼻 5) 経皮的与薬 6) 直腸内与薬 7) 注射 8) 輸血管理 			
	3. 演習 <ol style="list-style-type: none"> 1) 筋肉内注射（実技4時間） 2) 点滴静脈内注射（実技2時間） 			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護が見える ①基礎看護技術 ②臨床看護技術 メディックメディア			
参考書				
留意点				

科目名	看護の展開方法	1年次	1単位 30時間	講師	専任教員
科目 目標	1. 対象の持つ健康上の問題を明らかにして、その問題を解決するための系統的で意図的な思考過程としての看護の展開方法を理解する				
回数	教 育 内 容				
1～14	1. 看護過程の基盤となる考え方（講義） <ol style="list-style-type: none"> 1) クリティカルシンキング 2) リフレクション(内省・省察・熟考) 3) 臨床判断モデル 2. 看護モデルとアセスメント分析（講義） 3. 看護過程（講義・グループワーク） <ol style="list-style-type: none"> 1) アセスメント（情報収集と分析） 2) 看護問題の明確化 3) 看護目標と看護計画 4) 実施・評価 				
15	試験				
評価方法	筆記試験、授業課題による評価				
教科書	基礎看護技術Ⅰ 医学書院 看護診断ハンドブック 医学書院 看護がみえる ④看護過程の展開 メディックメディア				
参考書	看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 学研				
留意点					

科目名	高齢者看護学概論	1年次	1単位 15時間	講師 専任教員
科目目標	1. 高齢者の身体的・社会的・精神的特徴とその生活について理解する 2. 社会構造の変化と保健医療福祉制度の動向を理解する 3. 老年期における健康課題と看護の役割について理解する			
回数	教 育 内 容			
1～7	1. ライフサイクルからの高齢者の理解（講義） 1) 老年期の定義 2) 加齢と老化 3) 老年期の発達課題（エリクソン、ベック、バトラー） 2. 生活史からの高齢者の理解（講義） 1) 生活史からみた高齢者 2) 高齢者の多様性 3. 高齢者の生活の変化（講義） 1) 生活の場、住宅環境 2) 生活リズムと生活習慣 3) 役割と生活活動、余暇活動 4) 就労・雇用 5) 収入・生計 4. 加齢に伴う変化（講義） 1) 加齢に伴う変化の特徴 2) 身体的変化 3) 精神的変化 4) 社会的変化 5) セルフケア 5. 老年期の健康課題（身体的・精神的・社会）（講義） 6. 健康増進・疾病予防に伴う施策や取り組み（講義） 1) 健康状態が急速に変化する対象の身体的・心理的・社会的特徴 7. 生活（療養）の場に応じた看護（病院・施設・在宅等） 8. 高齢者と家族（講義） 1) 家族構成の変化 2) 家族形態の変化 3) 老年者と家族の人間関係 4) 介護と家族 9. 高齢者の保健・医療・福祉の動向（講義・グループワーク） 1) 人口学指標 2) 健康指標 3) 老人保健法 4) 老人福祉法 5) 老人医療制度 長寿医療制度 6) 年金制度 7) 介護保険 8) 医療費の助成制度の活用 9) 保険医療福祉施設 10. 高齢者とQOL（講義） 1) 老年者の尊厳と権利擁護 2) ノーマライゼーション 3) 自立支援 4) フォーマルサービス・インフォーマルサポート 11. 老年看護における倫理的課題（講義・グループワーク） 1) 虐待 2) 身体拘束・抑制 3) 地域福祉権利擁護事業・成年後見制度 12. 老年看護の役割（講義・グループワーク） 1) 経過に応じた看護 2) 治療に応じた看護			
8	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	老年看護学 医学書院 老年看護 病態・疾患論 医学書院			
参考書	公衆衛生がみえる メディックメディア			
留意点				

科目名	高齢者の健康な生活の 保持・増進に向けた看護	2年次	1単位 30時間	講師 専任教員
科目 目 標	1. 高齢者の加齢に伴う健康状態や日常生活能力をアセスメントする方法を理解する 2. 高齢者とその家族の健康・自立を支えるための基礎的援助方法を理解する 3. 加齢に伴う症状に対する援助方法について理解する 4. 高齢者とその家族の自立を支える日常生活の援助を理解する			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 高齢者への基礎的援助（講義） 1) 高齢者の観察 2) コミュニケーション（感覚機能低下・認知力低下） 3) 加齢による身体変化への援助 2. 自立を支える日常生活の援助（講義） （日常生活能力のアセスメントと援助の方法） 1) 食生活と栄養 2) 活動・運動とレクリエーション 3) 休息と睡眠 4) 排泄 5) 清潔・身だしなみ 6) 性生活 7) 住環境 8) 対人関係 3. 高齢者に多い事故への対応（講義・グループワーク） 1) 転倒・転落 2) 熱傷 3) 窒息 4) 感染 4. 加齢に伴う症状と看護（講義・グループワーク） 1) 痛み 2) 掻痒感 3) 不眠 4) 痺れ 5) 冷え 6) 便秘・尿失禁 7) 振戦 8) 脱水 9) うつ 10) 難聴 11) 視力障害 5. 演習 1) 高齢者の模擬体験（実技2時間） （歩行介助、移動等） 2) 高齢者の日常生活援助（実技4時間） （オムツ交換、義歯の取り扱い・口腔ケア）			
15	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	老年看護学 医学書院 老年看護 病態・疾患論 医学書院 根拠と事故防止からみた老年看護技術 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	高齢者看護学演習	2年次	1単位 30時間	講師 専任教員
科目目標	1. 高齢者を対象とした看護過程の展開ができる 2. 高齢者およびその家族に必要な看護技術を習得できる			
回数	教 育 内 容			
1～14	1. 看護過程展開（講義・グループワーク） 回復期の事例を用いた看護過程の展開 1) 看護過程展開の実際 2) 指導技術（個別） ① 片麻痺患者の移動 ② 良肢位 ③ 義歯の取り扱い 2. 演習（実技2時間） （片麻痺患者の移動、良肢位、嚥下訓練）			
30	試験			
評価方法	筆記試験、授業課題による評価			
教科書	老年看護 病態・疾患論 医学書院 脳・神経 医学書院 根拠と事故防止からみた老年看護技術 医学書院 看護診断ハンドブック 医学書院			
参考書				
留意点				

科目名	小児看護学概論	1年次	1単位 15時間	講師 専任教員
科目目標	1. 小児期にある対象を理解する 2. 小児看護の役割・機能を理解する 3. 母子保健、小児保健のあり方について理解する 4. 子どもの権利を保障することの必要性について理解する			
回数	教 育 内 容			
1～7	1. 小児看護の対象と役割（講義） 1) 小児看護の対象 2) 小児看護の役割 3) 健康の保持・増進のための看護の場と活動 2. 小児医療・小児看護の変遷（講義） 1) 小児医療・小児看護の変遷 3. 母子保健と小児保健（講義） 1) 小児の保健統計 2) 母子保健の動向 4. 子どもの権利と看護（講義・グループワーク） 1) 医療現場で起こりやすい問題点 2) 子どもをとりまく社会の変化 3) 子どもの権利に関わる法規 4) アドボカシー			
8	試験			
評価方法	筆記試験			
教科書	小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院			
参考書	公衆衛生がみえる			
留意点				